

平成25年度事業の執行状況

1 障害者スポーツ大会の開催支援

(1) 第7回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の開催

第13回全国障害者スポーツ大会「スポーツ祭東京2013」の選考会に位置づけ実施した。今大会から、精神障害者の参加等、競技人口が増加傾向にあるフライングディスク競技を、陸上競技と別日程で開催し運営体制の強化を図った。

開催期日	競技名	対象	開催場所	参加人数
4月29日 (祝・月)	車いす使用者陸上 フライングディスク	車いす使用者	ユニバー記念競技場 (補助競技場)	495人
5月17日 (金)	卓球	精神障害者	県立障害者スポーツ交流館	178人
5月18日 (土)	バスケットボール バレーボール	知的障害者	県立障害者スポーツ交流館	163人
5月19日 (日)	卓球	身体・知的障害者	県立障害者スポーツ交流館	237人
	水泳	〃		246人
	フライングディスク	身体・知的・精神障害者	三木山総合公園	456人
5月25日 (土)	陸上競技	身体・知的障害者	三木総合防災公園	2,009人
	ソフトボール	知的障害者		307人
	サッカー			
5月26日 (日)	ボウリング	〃	フタバボウル(明石市)	107人
6月7日 (金)	サウンドテーブル テニス	視覚障害者	県立障害者スポーツ交流館	86人
11月22日 (金)	バレーボール	精神障害者	グリーンアリーナ神戸	360人
合 計				4,644人

(2) 第25回全国車いすマラソン大会の開催

全国から参加者を募集し、篠山城跡マラソンコース(日本陸連公認コース)を利用して車いすマラソン大会(フルマラソン及びハーフマラソン)を開催した。秋晴れの快晴のもと、コース記録が出るなど、四半世紀の成果があらわれた大会となった。

- ・開催日 平成25年9月29日(日)
- ・開催場所 篠山城跡マラソンコース(篠山市)
- ・参加者 選手91名出走、76人完走、競技役員・ボランティア約1,000名

(3) 競技別の県大会開催支援事業

団体が主催する競技大会及び練習会開催経費の一部を助成するとともに、大会情報発信の充実により競技人口の拡大や競技団体の競技力向上を図った。

- ・助成団体 23団体
- ・助成額 開催経費の1/2以内(下限40千円、上限80千円)

2 全国大会等への選手派遣支援

(1) 第13回全国障害者スポーツ大会近畿地区予選会への選手派遣

第13回全国障害者スポーツ大会に派遣する近畿ブロック代表チーム（団体競技）を決定する下記の近畿地区予選会に兵庫県チームを派遣した。

競技種目	開催日	会場
車椅子バスケットボール（身体）	平成25年5月26日（日）	大阪市
バスケットボール（知的男子・女子）	平成25年6月9日（日）	奈良県
バレーボール（聴覚男子・女子）	平成25年5月26日（日）	滋賀県
バレーボール（知的男子・女子）	平成25年6月9日（日）	神戸市
バレーボール（精神）	平成25年6月1日（土）	堺市
フットベースボール（知的）	平成25年6月2日（日）	神戸市
グランドソフトボール（視覚）	平成25年5月26日（日）	兵庫県
ソフトボール（知的）	平成25年6月9日（日）	兵庫県
サッカー（知的）	平成25年6月2日（日）	大阪府

(2) 第13回全国障害者スポーツ大会「スポーツ祭東京2013」への選手派遣

東京都で開催される第13回全国障害者スポーツ大会「スポーツ祭東京2013」に兵庫県選手団を派遣した。陸上で5種目、水泳で5種目の大会新記録が樹立され、聴覚女子バレーボールが2連覇、知的男子バレーボールが2年ぶりに優勝を飾った。

- ・大会期間 平成25年10月12日（土）～14日（月）
- ・派遣期間 平成25年10月11日（金）～15日（火）
- ・開催場所 味の素スタジアムほか
- ・派遣人数 個人競技、団体競技選手計118名、役員33名
（団体競技：知的男女バレーボール、聴覚男女バレーボール、知的サッカー）
獲得メダル数：個人競技 金29、銀6、銅7
団体競技 金2、銅1
（全国順位：都道府県10位（神戸市含む））

(3) 第25回全国車いす駅伝競走大会への選手派遣

京都市で開催される第25回全国車いす駅伝競走大会に兵庫県選手団を派遣した。

- ・開催日 平成26年3月9日
- ・開催場所 西京極運動公園マラソンコース（京都市）

(4) 競技別の全国大会派遣経費支援事業

競技団体の競技力向上等を図るために、団体が派遣する全国大会の派遣費用の一部を助成した。

- ・助成団体 20団体
- ・助成額 派遣経費の1/2以内（下限30千円、上限60千円）

3 障害者スポーツ振興事業

(1) 障害者スポーツ普及・育成事業

県内のプロスポーツや企業スポーツチームやパラリンピック出場アスリート、一般競技団体指導者等の参画を得て、障害者スポーツの普及と選手育成を図るために実施する練習会、教室等に対し経費の一部を助成した。

- ・助成団体 2団体
- ・助成額 上限200千円(対象経費:会場使用料、派遣経費等)

(2) 障害者スポーツ奨励事業

障害者スポーツの振興に有意義な研究会の開催や指導者・ボランティアの資質向上のための研修会、競技力向上のための審判講習会等の事業に対して、経費の一部を助成した。

- ・助成団体 全県レベルの障害者スポーツ振興を目的とする1団体
- ・助成額 開催経費の1/2以内*(上限30千円)

4 障害者スポーツのすそ野拡大・育成・強化

(1) 兵庫県障害者スポーツフェスティバル開催支援事業

障害の有無や程度・種類に関係なく、誰もが楽しむことができる大会やイベント等の開催を支援することにより、障害者スポーツのすそ野を図った。

- ・支援対象 10大会
- ・助成額 開催経費の1/2以内(上限30千円)

(2) 全国障害者スポーツ大会に向けた選手育成強化

全国障害者スポーツ大会の全競技種目について、派遣候補選手を中心とした練習会や、交流試合等の実施により、選手及びチームの技術力向上を図った。

① 第13回全国障害者スポーツ大会派遣選手事前練習会の開催

第13回全国障害者スポーツ大会派遣選手を対象に、競技力の向上を図るため、各競技に精通した指導者を招き技術指導を行った。

- ・内容 陸上・フライングディスク、水泳・卓球・サウンドテーブルテニス
- ・実施時期 平成25年9月1日(日)、7日(土)、10月6日(日)

② 団体競技種目での取組

関係競技団体・施設等を中心に、チームの編成及び選手の育成強化を依頼するとともに、その取組を支援した。

ア チーム編成への協力依頼

身体障害者の団体競技については、近畿地区予選派遣チームの編成を依頼している団体に協力を依頼した。

競技名	依頼先(予定)
車椅子バスケットボール	兵庫県車椅子バスケットボール連盟
グランドソフトボール	社会福祉法人兵庫県視覚障害者福祉協会
聴覚障害者バレーボール(男子・女子)	公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会
サッカー	兵庫県特別支援学校(知的)サッカー連盟
バスケットボール(男子・女子)	一般社団法人兵庫県知的障害者施設協会
バレーボール(男子・女子)	兵庫県立高等特別支援学校
ソフトボール	兵庫県立高等特別支援学校

イ 練習会の開催支援

各団体で実施する練習会及び合宿の会場使用料及びコーチ謝金を助成した。

- ・対象経費 会場使用料、コーチ謝金
- ・助成額 上限70千円
- ・助成対象 9件

ウ 交流試合開催・参加への助成

各団体で開催または参加する他府県との交流試合等について、開催の場合には会場使用料、審判謝金を、参加の場合については旅費を、助成した。

- ・対象経費 開催時：会場使用料、審判謝金、参加時：旅費
- ・助成額 上限60千円
- ・助成対象 9件

③ 個人競技種目での取組

「第7回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会」での成績を参考に選考を行い、関係団体の協力の下、全国大会個人競技種目（陸上、水泳、卓球、フライングディスク、ボーリング、アーチェリー）について練習会を開催し、派遣候補選手の発掘及び育成強化を進めた。

- ・対象経費 会場使用料、コーチ謝金、審判謝金
- ・助成額 上限70千円
- ・助成対象 9件

(3) 障害者スポーツ指導者養成講習会開催事業

障害者スポーツの振興に関わる指導者の養成を行い、地域に配置することで地域の障害者スポーツの振興を図った。

特に、障害者スポーツのすそ野拡大や競技力向上のための人材確保に向け、関係機関に幅広く案内した結果、特別支援学校教員、大学教員、社会福祉施設職員、社会福祉協議会職員、大学生など幅広い方面からの受講があった。

- ・研修期間 平成26年1月
- ・研修場所 県立障害者スポーツ交流館ほか
- ・修了者 38名

5 障害者スポーツ振興のための普及・啓発

(1) プロスポーツとの連携

サッカー全国大会出場チームと関西サッカー協会、関西Jリーグ4チーム（ガンバ大阪、セレッソ大阪、ヴィッセル神戸、京都サンガF.C.）との壮行会を開催した。プロからのアドバイスにより、チームのモチベーションは大いに高まった。

- ・平成25年9月23日（祝・月）大阪府堺市J-GREEN 堺
- ・全国大会出場 兵庫県チーム（監督・コーチ3人、選手16人）

(2) 兵庫県障害者スポーツ功労賞・優秀選手賞の贈呈

障害者スポーツの振興に功労のあった者又は団体、その他広く障害者の模範となった者又は団体を表彰してその功績を顕彰した。

- ・平成26年2月13日（木）兵庫県公館
- ・兵庫県障害者スポーツ功労賞2名1団体
- 兵庫県障害者スポーツ優秀選手賞64名3団体

(3) 国際大会派遣選手への激励金贈呈

障害者スポーツの振興と県民に対する理解促進を図るため、国際大会に出場する選手に対し表敬訪問及び激励金の贈呈を実施した。

第22回夏季デフリンピック競技大会ソフィア2013（ブルガリア）

開催日 平成25年7月26日（金）～8月4日（日）

対象者数 11名

女子バレーボール銀メダル獲得

アジアユースパラ競技大会マレーシア2013

開催日 平成25年10月26日（土）～30日（水）

対象者 4名（水泳3名、車椅子バスケット1名）

水泳 銀・銅メダル獲得、車椅子バスケット 銀メダル獲得

(4) 障害者スポーツボランティアバンクの運営

県内の大学・短期大学等に、各種大会のスタッフとして活動する障害者スポーツボランティアとしての参加を積極的に呼びかけ、障害者理解の促進に取り組んだ結果、兵庫教育大学、関西国際大学、龍野北高校など多くの学生ボランティアの協力を得た。

(5) ホームページ上での情報提供

当協会の実施する事業に加え、県内各地の障害者スポーツ関連イベント等について広く情報を提供するため、協会ホームページを運用した。

(6) 今後の障害者スポーツ施設のあり方検討会議

県内の障害者スポーツ推進拠点施設の現状と今後のあり方や施設整備について検討を行うため、体育施設関係者・障害者団体・競技団体等のメンバーで構成する「障害者スポーツ施設のあり方検討会議」を開催した。

(7) 「障害者スポーツネットひょうご」との連携

県内の障害者スポーツ関係団体を構成員とするネットワーク組織である「障害者スポーツネットひょうご」に参画し、情報の共有、協働事業の展開等を行った。

- ・「ひょうごの障害者スポーツサイト」ホームページによる情報発信
- ・「人材バンク」の運営
- ・障害者スポーツポスター募集の連携
- ・障害者スポーツふぉーらむの開催（平成26年2月9日 参加100人）

6 財政基盤強化のための取組

(1) 協賛企業の開拓

全国車いすマラソン大会の協賛を継続して依頼するとともに、兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会、ソフトボール近畿大会等でのプログラムへの広告掲載を積極的に行った。

(2) 障害者スポーツ支援自動販売機の設置

飲料販売企業の協力を得て、売上金の一部が当協会に寄附される障害者スポーツ支援自動販売機の設置を進めるため、市町を訪問し、設置協力を依頼した。